



せきかわ

関川村立関川小学校 学校だより 令和3年度 3号

教育目標

ゆたかな心

たくましい体

すすんで学ぶ

関川の子

先入観にとらわれず

～信号機の色は、赤・黄・青？～

校長 須貝 学



【修学旅行から】

6月10日、11日、晴れ渡る空の下、6年生が佐渡の修学旅行へ行ってきました。佐渡でしかできない数多くの体験をし、6年生の仲間としかできない思い出をたくさんつくることができました。

私たちは、何かのきっかけで思い込みをしてしまうと、それ以後「先入観」をもって、ものごとを判断しがちです。

月曜日の夜9時からフジテレビが放映する、通称「月9ドラマ」と呼ばれるテレビ番組があります。「東京ラブストーリー」や「ひとつ屋根の下」、「ロングバケーション」など、かつて驚異的な視聴率を叩き出した往年の作品が、数多く名を連ねている番組枠ですが、近年は視聴者のテレビ離れの影響もあって、人気の低迷が続いています。ところが、現在放映中の「イチケイのカラス」が、徐々に視聴率も好調で人気も上々のようです。

自由奔放で型破りな刑事裁判官の主人公入間みちおが、先入観に一切とらわれず、自由な観察眼で起訴案件を徹底的に調べ上げていくという、一話完結の法廷ドラマです。私も毎回観ているのですが、主人公が、評議の時に毎回語る“甥っ子トーク”が、独特の視点で切り込み、ストーリー展開のキーポイントにもなっています。第8話の

甥っ子トークでは、「なぜ子どもが描く絵は、太陽が赤で青信号が青に塗られるのか」という質問を甥っ子にされたというものでした。主人公のみちおが、これは大人が子どもに先入観を植え付けているからだと言明し、先入観を捨てて物事を判断することが大切だと説いていました。この先入観にとらわれないということが、事件解決につながっていく伏線となっていたのです。

日常生活の中には、先入観で物事を判断してしまうことが多々あります。小学生のランドセルの色も、以前はこの先入観にとらわれていたのかもしれませんが。また同様に、男子には黒や青、女子は赤の色を多くの場面であてがっていたように思い出されます。このような日常生活の物事に見られるものから、中には人の心を傷つけてしまう偏見や差別につながっている場合もあります。思い込みや先入観にとらわれず、物事を判断する姿勢を心掛けたいものです。

